



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
 東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
 電話 03-5315-0941
 2023年6月20日
 第750号



JR東労組ホームページは
 ←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>



議事を進行した議長団

鈴木代議員 (千葉地本) 大山代議員 (仙台地本)

第42回定期大会



6月12日 ツニツクシティ小ホール

6月12日、「第42回定期大会」を開催し、スローガンや運動方針などを満場一致で確認しました。質疑では、「安全問題」「23春闘」「組織強化・拡大」「会社によるハラスメント問題」を中心に19名の代議員から発言がありました。「新生JR東労組運動宣言」に基づき、仲間の命を守るため職場からたたかうこと、組合員・社員の努力に報いない経営姿勢に立ち向かうこと、「抵抗とヒューマンイズム」の精神を根底に組織強化・拡大を実現し、全ての仲間と共に職場から未来を切り拓いていくを確認しました。

スローガン

1. 「2023JR総連春闘」をたたかい抜いた組織の力を根底に、経営姿勢に是々非々で立ち向かい、職場で発生する諸課題の解決に向け、『職場からの挑戦』で組織の強化・拡大を全組合員で作り出そう！
1. 命と安全を最大の価値基軸に、懲罰的日勤教育を許さず、安全哲学の再確立をめざそう！
1. 「抵抗とヒューマンイズム」の精神を根底に、あらゆる戦争政策に反対し、平和憲法9条を守り広めるため連帯の輪をつくり出し、平和で安心して暮らせる社会の実現をめざそう！

職場の努力に報いない会社姿勢に立ち向かおう

安全輸送と災害対応に奮闘する全組合員の皆さんに感謝申し上げます。また、夏季手当等のたたかひでの組合員・ご家族、未加入者の皆さんからのお心遣い、大変ありがとうございます。夏季手当等は6月7日の第3回交渉で「基準内賃金の2・5ヶ月分に5万円を加えた額」が回答されました。3期ぶりの黒字決算に多くの組合員が期待を寄せましたが、「黒字になってこれだけか」「特別手当は一定の前進が見えるが、3年間頑張っても5万円」「経営側と現場の溝の深さを感じる」との声があるように、これまでの奮闘、人材流出の危機感、厳しい労働実感・生活実感を踏まえた1700件以上の声を受け止めた回答ではないことに怒りが集中しました。

安全第一の職場風土確立に向けてたたかおう

経営側は私たちの努力を「目標に届いていない」「楽観できない」と無下にす。一方、「チャレンジ」「モードチェンジ」を執拗に訴えています。「融合と連携」が進む中、「権限移譲」されても人が増えない「休日出勤は月200件超」「今までの3倍働いている」など働き度が増加し、コロナ前と比になりません。賃金抑制と社員の意識転換に終始する会社姿勢に、組織強化・拡大で立ち向かおうではありませんか！

人間破壊の人事異動を許さずたたかおう

豊田運輸区で人間破壊の転勤懲罰が行われています。乗務途中に指令から連絡を受け、職場に戻ったタイミングで事前通知が手交されるなど前代未聞です。事前発令で組合員は持病



「命と安全」を守ることを最大の価値基軸に、あらゆる課題解決に向けて、「新生JR東労組運動宣言」を実践し、未来を切り拓こう！

中央執行委員長挨拶(要旨) 佐藤英樹

せてしまう。この現実をつくり出したのも私たちだという反省と節目をつけなければなりません。事象を発生させた本人から現実や本音を掴まなければ、次の方針や対策を憶測や推論で組み立てることになりかねません。組合員をそっとしておき、触れられたくないだろう、ということではなく、会社と言えない悩みを共有して、仲間と同じ思いをさせないために原因究明委員会等ですぐに集まり、職場で議論することが課題です。「4M4E分析」なども活用しながら問題点を掘り下げ、安全第一の職場風土を確立していきます。

たたかひなくして「責任追及から原因究明へ」の安全哲学は再確立できません。本音で語れる職場風土、事象発生時の初動体制、「危険と感したら列車を止める!」、安全第一を価値基軸とした職場からのたたかひを通して、自らつくり出した職場風土を変えるために決起しようではありませんか！

憲法9条を守り広める連帯を広範につくり出そう

JR東日本グループが大きく変わる中、ローカル線で働く組合員・社員の課題にどう取り組むか、JR東労組全体の課題として立ち向かおうではありませんか！

政府は防衛産業の「国有化」を可能にする等の防衛力の抜本的強化に向け、装備品の開発や資産基盤を強化する「防衛産業強化法」を参院本会議で可決、成立させました。防衛産業は国防を担うパートナーというべき重要な存在と位置づけ、企業への支援策を盛り込みました。ロシアによるウクライナ侵攻が泥沼化する中、軍事的緊張の高まりを利用して、着々と戦争体制を強化し、あわせて原発政策も含めて歴史的転換を図ることを許してはなりません。

みんなに親しまれる鉄道をめざそう

JR東労組は、憲法9条改悪と戦争体制強化に反対し、国会前19日行動や平和研修、9条連ニュースの拡大を通じ、平和を守る皆さんとの連帯をつくり出します。

「抵抗とヒューマンイズム」を根底に新生JR東労組運動宣言を実践し、職場からのたたかひを通じて未来を切り拓きましよう。

コロナ禍とJRの経営問題を理由にしながら、鉄道の将来にかかわる問題を収支や利用者数で論じ、自治体や地域の皆さん、労働者、組合員に一方的に負担を押し付けることがあってはなりません。

議員の皆さんと意見交換させて頂いた際に「鉄道(駅)がなくなれば、宿泊施設、商店街、バス・タクシー需要などが消え、地域の衰退につながる」収支だけでは見えない観光需要が地方路線にはある。自治体もアピールすべき」と話されています。バスの仲間にも現実を聞く